

用語の解説

※ 1. 雪庇

山の稜線や崖のように、傾きが急に変化する場所の風下側に、庇（ひさし）のように突き出した雪の吹きだまりや、建物の屋上から張り出している雪のかたまり。放置すると、自重に負けて崩落するまで際限なく大きくなる。放置すると崩落して、通行人や家財に被害を及ぼすことがある。

※ 2. 沈降圧

地上に積もった雪が形を変え自重とによって沈下するときに、積雪内部にある物体を下方に引っ張る垂直の力のこと。

※ 3. 新雪除雪

降り積もった路面の雪（新雪）を道路脇に寄せる作業のこと。



※ 4. 拡幅除雪

道路脇の雪を積み上げ、走行車線の幅を広げる作業のこと。



※ 5. 表層雪崩

降り積もった雪の上の層が下の雪を残したまま滑り落ちる雪崩を表層雪崩といい、気温が低く、急に大量の雪が降った時の斜面で発生しやすい。表層雪崩の速さは時速100～200kmで、新幹線並みの速さである。比較的規模の大きな雪崩のほとんどは傾斜35～45°の斜面（スキーの上級者コースに相当します）で発生しやすい。

※ 6. 全層雪崩

地面に積もった雪が全て滑り落ちてくる雪崩を全層雪崩といい、春先などに気温が上がった時の斜面で発生しやすい。全層雪崩の速さは時速40～80kmの自動車並みの速さである。比較的規模の大きな雪崩のほとんどは傾斜35～45°の斜面（スキーの上級者コースに相当します）で発生しやすい。

((公財) 雪だるま財団調べ)